

新刊



都市計画法 100 年、新都市計画法から 50 年余、区画整理や再開発に住民の声は反映されたか。区画整理・再開発対策全国連絡会議は、50 年にわたり区画整理・再開発における住民運動の連絡組織として活動してきた。その経験を通して、住民の住み続ける権利をどう守るか、まちづくりにつなげるか、公共性や共同性に立脚した「住民主権のまちづくり」を提唱する。。

NPO 法人区画整理・再開発対策全国連絡会議編
岩見良太郎・波多野憲男・島田昭仁・今西一男・
遠藤哲人著 定価(本体1600円+税、送料)
自治体研究社発行 03・3235・5941
アマゾン、セブンネットショッピングその他書店扱い。

[目次より]

- 1 区画整理・再開発における共同性とまちづくりの可能性
●岩見良太郎
 - 2 住民運動が問う都市計画の「公共性」 ●波多野憲男
——都市計画の民主主義を求めて
 - 3 『区画・再開発通信』に見る「公共観」の変遷 ●島田昭仁
——20 世紀から 21 世紀にかけて何が変わったか
 - 4 区画整理住民運動と地域空間の自主的コントロール ●今西一男
——共同性を模索した 50 年
 - 5 区画整理と未完の小住宅地対策 ●遠藤哲人
——土地利用のライフサイクルと制度の永続性との狭間で
- 付録 区画整理・再開発対策全国連絡会議 50 年史概要版

連絡会議事務局
でも扱っていま
す。
会員特価、1500
円(税、送料共)